

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公開番号】特開 2001-299717 (P2001-299717A)
 【公開日】平成 13 年 10 月 30 日 (2001.10.30)
 【出願番号】特願 2000-128049 (P2000-128049)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/05
 A 6 1 B 5/0408
 G 0 1 R 27/02

【F I】

A 6 1 B 5/05 B
 G 0 1 R 27/02 A
 A 6 1 B 5/04 3 0 0 N

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 6 月 4 日 (2004.6.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、生体電気インピーダンス測定装置としては、図 1 に示すように、ケーブル 1 1 に接続された 1 対の測定電流印加電極 1 2 a、1 2 b および 1 対の電圧測定電極 1 3 a、1 3 b を両手、両足、または、手足等に貼り付けて測定するケーブル接続電極型のもの 1 0 や、図 2 に示すように、1 対のグリップ 2 1 a、2 1 b に配置された 1 対の測定電流印加電極 2 2 a、2 2 b および 1 対の電圧測定電極 2 3 a、2 3 b を両手で握って測定する手専用電極型のもの 2 0 や、または、図 3 に示すように台 3 1 上に配置された 1 対の測定電流印加電極 3 2 a、3 2 b および 1 対の電圧測定電極 3 3 a、3 3 b 上に両足で乗って測定する足専用電極型のもの 3 0 が知られており、いずれも両手、両足、または、手足間といった身体の 2 つの部位に 2 対の電極を配置して生体電気インピーダンスを測定するものである。尚、本願明細書において、身体の 1 つの部位とは、関節間に挟まれた、関節が介在しない身体の連続する部分をいう。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 7】

$$(X - a)^2 + (Y - b)^2 = r^2 \quad (\text{式 1})$$

a、b、r は、式 1 に、周波数 F 1、F 2、...、F N における生体電気インピーダンス測定値 Z 1、Z 2、...、Z N を代入することにより求められる。